「全国中小企業クラウド実践大賞」の募集について

別　紙

1. 開催概要  
   　中小企業・小規模事業者等が、クラウドサービスの利活用により、生産性向上・経営効率化などの推進を宣言する「自己宣言」と、これらの実践事例から、クラウドサービスの導入を検討している中小企業等への実践モデルとなるような、優れた提案に対する総務大臣賞、全国商工会連合会会長賞等を贈る「クラウド実践コンテスト」で構成しています。昨年は、株式会社atsumelが「クラウドの実践で顧客情報を共有し、ニーズを踏まえた営業で商談化率向上」事例を発表し、総務大臣賞を受賞しました。  
   　参加者には、評価結果に応じたロゴマークが提供され、クラウドサービスを活用した生産性向上・経営効率化の取り組みを、ホームページや会社案内等でアピールできます。参加者のロゴマークの活用により、他の中小企業等によるクラウドサービス導入の動機付けも促進します。

サイトURL：　<https://cloudinitiative.jp/>

1. 応募・推薦の流れ　　  
   　専用サイトより「自己宣言」を行った後に、「クラウド実践事例」を提出します。その後、書面審査を通過した企業が、11月に開催されるクラウド実践コンテストに参加します。

以下(1)の自己宣言につきまして、他薦の場合は、商工会にご相談ください。下記フォームより入力又は（他薦）フォームより、**7月31日（金）までに、別添の「自己宣言の登録（他薦）状況回答シート.xlsx」が必要です。**

①自己宣言の登録（他薦）フォーム：

<https://form.run/@CLOUDINITIATIVE2020Otherrecommendation>

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（1）自己宣言（※）** | **（2）事例登録** | **（3）地方大会** | **（4）全国大会** |
| 令和2年6月11日 より受付開始 | 登録締め切り 令和2年8月31日 | 令和2年11月 | 令和３年1月 |
| 地域の中小企業等が、クラウドサービス活用により収益力向上・経営効率化した取り組みを「CLOUD INITIATIVE」として自己宣言をします。自己宣言した企業には、自己宣言の証となるロゴマークが贈られます。 | クラウド実践コンテストに参加するためにはモデル事例として認定を受ける必要があります。自己宣言をした企業へ実践事例の登録のフォームが送られます。 | 札幌市、郡山市、大阪市、岡山市、福岡市の全国五ヶ所で、実践事例を発表するクラウド実践コンテストを開催し、優良モデル事例を選出いたします。コンテストの上位2社は全国大会に参加することができます。 | 優良モデルを集めたコンテスト「クラウド実践コンテスト全国大会」を開催します。優良モデルの中でも特に優れたものへ、総務大臣賞、全国連会長賞等が贈呈されます。 |

※自己宣言は7/31以降も登録可能ですが、7/31までの登録（他薦）および登録状況報告にご協力をお願いいたします。

1. 審査基準等

|  |
| --- |
| **自己宣言** |
| 「顧客満足度の向上」、「従業員満足度の向上」、「業務効率の改善」、「マネジメントの積極的な参画」の4つの分野のチェック項目合計10点以上達成していれば、クラウドサービス活用の実践企業として自己宣言をすることができます。 |
| **モデル事例の選出（書面評価）** |
| 「活用度」、「浸透度」、「革新性」の3つの観点から審査を行い、モデル事例を選定いたします。 |
| **クラウド実践コンテスト** |
| 「活用度」、「浸透度」、「革新性」、「熱意」の審査員点と観覧者からの投票によるオーディエンス票を踏まえた総合評価を行い、優良モデルの選出および各賞を決定いたします。 |

4.今後のスケジュール（予定）

|  |  |
| --- | --- |
| 6月 11日 | 「自己宣言」「クラウド実践コンテスト」受付開始 |
| **7月31日** | **県連・商工会からの「クラウド自己宣言」登録（他薦）および登録状況報告期限**（7月31日以降も自己宣言登録は可能です。） |
| 8月31日 | 「クラウド実践事例」登録受付締め切り |
| 9月下旬 | クラウド実践コンテスト地方大会登壇企業発表 |
| 10 月 | クラウド実践コンテスト観覧者募集開始 |
| 11 月 | クラウド実践コンテスト（地方大会５会場）の開催  （北海道、福島県、大阪府、岡山県、福岡県） |
| 令和3年1月または2月 | クラウド実践コンテスト（全国大会　於：東京都内）の開催 |

5.その他

＜CLOUD INITIATIVE2020運営体制＞

主催：クラウド実践大賞実行委員会

（構成員）全国商工会連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会

　　　　（一社）クラウド活用・地域ICT投資促進協議会【事務局】

　　　　（一社）クラウドサービス推進機構

　　　　（一社）日本デジタルトランスフォーメーション推進協会

共催：総務省

後援予定（今後申請予定分を含む）：

中小企業庁

（独法）中小企業基盤整備機構

（独法）情報処理推進機構

（一財）全国地域情報化推進協会

（一社）中小企業診断協会

（一社）テレコムサービス協会

（一社）日本コンピュータシステム販売店協会

（特非）ITコーディネータ協会

働き方改革推進コンソーシアム

（一社） IT顧問化協会

全国中小企業クラウド実践大賞2019　受賞者情報

参考資料1

令和2年2月12日、東商グランドホール（現・東京商工会議所 渋沢ホール）にて「全国中小企業クラウド実践大賞 全国大会」が開催されました。全国大会では、和歌山、金沢、盛岡、長野、福岡で開催された地方大会に参加した中小企業・小規模事業者48社の中から選ばれた10社が、自ら推進する収益力向上や経営効率化を実現したクラウドサービス実践事例を発表しました。  
　うち、全国商工会連合会会長賞は岩手県雫石町の株式会社航和が受賞しました。事業者のクラウドサービス利活用の事例としてぜひご活用ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 賞区分 | 事業者名 | 実践事例の概要 |
| 総務大臣賞 | 株式会社atsumel  （愛知県名古屋市） | クラウド実践により顧客情報を共有し、ニーズを踏まえた営業で商談化率を向上 |
| **全国商工会連合会**  **会長賞** | **株式会社航和**  **（岩手県雫石町）** | **クラウド実践による事務作業の効率化で、介護現場の離職率を改善** |
| 日本商工会議所  会頭賞 | ダイヤ精機株式会社  （東京都大田区） | クラウド実践による情報共有から生産性を向上させ、強みである納期対応力を強化 |
| 全国中小企業団体中央会会長賞 | 株式会社コスモテック  （愛知県名古屋市） | クラウド実践により見積もり工数の可視化、ミスや誤発注を防止し黒字化を実現 |

≫前回コンテストリポート：<https://www.cloudil.jp/report-2019/>

|  |
| --- |
| **全国商工会連合会会長賞　株式会社航和 （岩手県雫石町）** |
| **クラウド実践により事務作業の効率化で、介護現場の離職率を改善** |
| |  | | --- | | 介護現場では人手不足が深刻で、航和においては、2015年の離職率が28％に上っていました。原因を探ったところ「大変なのは事務作業」ということが判明。そこで、クラウドを活用した事務作業の情報共有を開始しました。  以前は、伝達事項やケアプランなどを毎日コピーし、ヘルパーに配布したり、利用者別の情報ファイルを保管するスペースが足りず、検索に時間がかかったりと、課題が山積みでした。クラウドの活用により、アップされた情報を、すぐにスタッフ全員で共有でき、コメントや写真、音声などの利用で利用者の様子をリアルタイムに把握できるようになりました。  また、利用者の基本情報や予定実績の管理、計画書作成、請求業務などのICT化、Bluetooth対応のデバイスによる朝のバイタル測定などの効率化を実現。2017年には、離職率を8％にまで削減しました。 | | 全国商工会連合会会長賞：株式会社航和 | |

※月刊商工会2020年5月号において特集されていますので、参考として記事を別添しています。

「クラウド・イニシアティブ」自己宣言の登録の流れ

参考資料2

１. Security Action（一つ星又は二つ星）の宣言

（独）情報処理推進機構のSecurity Action（一つ星又は二つ星）の宣言をしましょう。宣言をするには、専用サイトでの登録が必要です。

5分程度で終わります。

（詳細は別添のマニュアル「SA自己宣言手順書.pdf」を参照してください。）

[Security Actionのウェブサイトはこちら >>](https://www.ipa.go.jp/security/security-action/mark/index.html)

２. クラウド・イニシアティブ　自己宣言チェックシートでの自己採点

クラウド実践チェックシートをダウンロードし、自己採点をしましょう。

（参考資料3参照）

３. クラウド・イニシアティブ自己宣言の申込登録

クラウド・イニシアティブ自己宣言の申し込みを行いましょう。

申し込み方法は、

中小企業・小規模事業者の方々が自ら申し込む「自薦」と、

中小企業のIT導入支援をしている方々などが代理で申し込む「他薦」があります。

**Ａ.自薦**

募集対象となる中小企業・小規模事業者等が自ら申込登録を行います。

窓口責任者は、申込登録を行う者の代表者又は従業員に担当していただきます。

[自己宣言の登録（自薦）フォーム>>](https://form.run/@CLOUDINITIATIVE2020)

**Ｂ.他薦**

募集対象となる中小企業・小規模事業者等から全国中小企業クラウド実践大賞への応募を推薦する旨の了解を得た個人や企業等が申込登録を代行します。

申込登録の代行する者は、この申込登録フォームにおいて「実践大賞応援団員」の登録（無料）をしていただきます。

[自己宣言の登録（他薦）フォーム>>](https://form.run/@CLOUDINITIATIVE2020Otherrecommendation)

**自薦**

**他薦**

フォームでの入力後、受付確認メールを送付するとともに、「クラウド・イニシアティブ」自己宣言のロゴマークのダウンロード先とその使用開始日を示した電子メールが送付されますのでご確認ください。

【注意事項】

・登録時に提供いただいた情報は外部秘扱いとして管理され、このまま公表されることはありません。公表する際は、事務局より改めて確認いたします。

・企業（組織）の基本データについては、ブランクや「・」を含めた登記上の表記とするなど登記簿情報等をもとに、正確に記入してください。

クラウド・イニシアティブ　自己宣言チェックシート

参考資料3

|  |
| --- |
| 「クラウド・イニシアティブ」は、地域の中小企業・小規模事業者等による収益力向上・経営効率化を実現したクラウドサービス実践事例を、事例の実施者が自己宣言することで他の中小企業・小規模事業者等と導入メリットを共有し、地域全体の活性化につなげることを目的としています。  自己宣言をしていただいた企業様にはロゴマークを贈ります。ウェブサイト、パンフレット等で表示するなど、取り組みのＰＲに役立ててください。  　まずは、次のチェックシートで、自己宣言から始めてみましょう。 |

チェック項目毎に、御社の進捗状況をチェック欄に記入して下さい。

○印：導入済み(3点)　△印：導入予定(1点)　×印：導入予定なし(0点)

|  |  |
| --- | --- |
| チェック項目 | チェック  欄 |
| １　お客さまの声の収集・対応（顧客満足度向上のために） | |
| 1. クラウドサービスを活用して、お客さまとの間で、商品の案内・説明・問合せ対応・決済の場面での意思疎通の向上を図った。 |  |
| 1. クラウドサービスを活用して、お客さまの声の社内共有など顧客対応の場面で従業員同士での意思疎通の向上を図った｡ |  |
| ２　従業員の声の収集・対応（従業員満足度向上のために） | |
| 1. クラウドサービスを活用して､テレワーク､フレックスタイム制などの多様な働き方を可能とする職場環境の実現を図った。 |  |
| 1. クラウドサービスを活用して、部門間・従業員間の情報共有による円滑な業務運営のための意思疎通の向上を図った。 |  |
| ３　業務改善への反映（業務効率の改善のために） | |
| 1. 受発注、製造・納入、会計・給与などの基幹的業務でクラウドサービスを活用している。 |  |
| 1. 顧客情報管理、販売管理、生産管理などの業務でクラウドサービスを活用している。 |  |
| ４　マネジメントの積極的な参画 | |
| ○経営者自らが、経営革新に向けて積極的にクラウドサービスを活用している。 |  |
| チェック欄の合計が１０点以上で、  **クラウド・イニシアティブ　自己宣言！！** | /21 |

10点超えたら、ウェブサイトに登録!!　ロゴマークで取組をＰＲ!!!

登録はコチラ　→　<https://www.cloudil.jp/contest/>